



市原市立中央図書館報 第148号
発行日：令和7年10月24日
発行者：市原市立中央図書館
(市原市更級5丁目1-51)

Tel 0436 (23) 4946



市原市立図書館
ウェブサイト



※施設のイラストデザイン©kumori



秋の読書週間

2025・第79回 読書週間
10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。



いちはら I'Library2025

10月27日(月)～11月9日(日) ※中央図書館は10月28日(火)から

市内読書施設共通企画



展示「こころとあたまの、深呼吸。」



いそがしい毎日の中で「本を読む時間がない!」「読書する余裕がない」という方、
図書館・図書室にはさまざまな本があります。

深呼吸をするように、ゆっくり、じっくり、本と向き合ってみませんか?



中央図書館企画



展示「昭和100年」



2025年は昭和100年に当たることから、
「昭和」や「100年」に関連する図書を展示



イベント おはなし会

11月5日(水)15時～
2階集会室にて絵本のよみきかせ
※申込不要

スタンプ3倍デー

展示「小説・エッセイ・短歌のはじめ」

小説・エッセイの書き方や
短歌の入門書などの図書を展示



イベント リサイクルコーナー

正面玄関、2階視聴覚ホール前にて、
図書や雑誌のリサイクルを実施



イベント 大人向け映画会

『天使のいる図書館』(邦画、2017年)

11月2日(日)14時～15時50分

※整理券配付 30分前

定員:先着40名

会場:2階視聴覚ホール

イベント 文学講座

沢木耕太郎氏 講演会

「旅の不思議」

11月6日(木)14時～15時30分

※参加受付は終了しています。



第5回更級日記千年紀文学賞 受賞作品決定！！

一般の部

一般の部は小説143点、エッセイ（紀行文を含む）64点の計207点の応募がありました。椎名誠選考委員長（作家）はじめ、加賀美幸子委員（元NHKアナウンサー）、岸本（下尾）静江委員（作家、市原市内在住）、竹下亜紀委員（小学館学芸編集室編集長）による厳正な選考の結果、受賞作品が決定しました。

ここでは、椎名誠選考委員長の講評の一部と、大賞受賞作品、受賞者コメントを紹介します。
※椎名誠選考委員長の講評全文は、11月刊行の受賞作品集で読むことができます。

椎名誠選考委員長による講評



椎名 誠 選考委員長

五回目を数える本賞も年数を重ねることによってすぐれた作品が集まり、質のいい文学賞に育ってきている。

今回の小説の大賞受賞作は「シアーライン」。昔、「五井のはまぐり」を料理する店で修行した主人公が、はまぐりの料理と触れ合うエピソードが語られる。全体に落ち着いた筆致と、郷土色豊かなテーマがうまく作用しあって、味わいの良い短篇になっている。

エッセイも素晴らしい作品が集まったが、とりわけ「冷凍庫のワカサギ」は人間の喜びと悲しみをストレートに取り込んだすぐれた作品で、この賞の満票を得た。

小説



シアーライン

あおやま ゆういちろう
青山 祐一郎 氏

この度は、大賞という身に余る賞を頂き、誠にありがとうございました。選出して頂いた先生方を始め、文学賞に携わられた全ての皆様に御礼を申し上げたいと思います。何かしらの賞を貰えるのではないかと淡い期待を抱いて、5回連続で応募してきましたが、今回、夢が叶いました。

今回の受賞を新たなスタートだと思い、これからも小説を書き続けていきたいと思っています。

受賞コメント

エッセイ（紀行文を含む）



冷凍庫のワカサギ

たむら なみ
田村 奈実 氏

この度はこのような素晴らしい賞を頂けたこと、大変嬉しく思っております。作品を書くにあたって過去の受賞作品を拝見したのですが、どれも素晴らしい作品だったので、まさか自分の作品が選んで頂けるとは夢にも思いませんでした。また、今作は闘病中の父との最期の思い出だったので、皆さまに読んで頂けると思うととても感慨深いです。

父も天国で喜んでいると思います。この度はありがとうございました。

受賞コメント



小中学生の部（短歌）

第5回目となる「更級日記千年紀文学賞 小中学生の部」は、テーマを「山」とし、小学生2,044首・中学生749首と多数の作品の応募をいただきました。選考委員である市原歌人会の厳正な選考の結果、12首の受賞作品が決定しました。ここでは大賞作品をご紹介します。

小学生
大賞

山道で見つけた花にこっそりと 名前をつけた秋の遠足

たなか れな
日野市立日野第六小学校 4年
(応募当時) 田中 玲奈さん

この度は大賞をいただきありがとうございます。この短歌は4年生の遠足で高尾山に登った時の気持ちを含めて詠みました。秋のオレンジや赤に彩られた紅葉は色鮮やかでとてもきれいでしたが、わたしの心は山道に咲いた名前も知らない小さな白い花に揺れました。これからも更級日記の作者のように、日常の小さな出来事で感じたワクワクした想いをたくさん集めて、良い短歌が作れるようにがんばります。

中学生
大賞

里山よりすべり降りてきた夏風が アロハシャツ着た祖父の背ぬける

よこみち ひかる
山口大学教育学部附属光中学校 2年
(応募当時) 横道 玄さん

第5回中学生の部で大賞に選んでいただきありがとうございます。第2回更級日記千年紀文学賞の小学生の部で、大賞を頂いており二回目の受賞とても嬉しいです。今年の暑い夏に珍しくアロハシャツを着ていた祖父の背を、冠山という里山から吹く風が抜けていきアロハシャツを揺らした風景を詠みました。これからも学校生活や風景などを短歌という形にしていける事を続けていきたいと思っています。



市原歌人会・会長 市川一子氏による講評

5回目となりました小中学生の部（短歌）のテーマは「山」で、応募数は過去最高の2,793首でした。学校単位での応募の多い中、今年もウェブサイト等での広報を通じて個人の応募が各地から有り、短歌への関心の深さに高齢化が危惧される現在の短歌界に明るい未来のある事を確信致しました。今回、「山」という大きなテーマに実在する山だけでなく文字からのイメージで生まれた作品や自身の目標を山に例えた作品も多く、また地球温暖化による災害に心を込めた作品など社会詠にも目がとまりました。

選歌は例年通り、基本を踏まえ自身の言葉で表現されているかなどを基に選考委員10人が一次から三次まで選考、更に話し合いを重ね、視点がはっきりとしていて個性的な表現であり、読み手にその感動が伝わってくる作品を絞り込み、最終選考では小学生・中学生ともにそのレベルの高さから選考委員の大半の支持をもって大賞に決定いたしました。

◆第6回更級日記千年紀文学賞開催決定！◆

応募受付期間：令和8年2月1日（日）から2月28日（土）
(当日消印有効) 詳細は右記からご参照ください。

更級日記
千年紀文学賞
ウェブサイト





図書館からのお知らせ



10月～12月 イベントカレンダー

※予定は都合により変更になる場合がございます。
ご了承ください。



…おはなし会



…映画会

フロアワーク

…自分の好きな絵本を読み聞かせしてもらえよ！

10 -2025-						
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1 	2	3	4
5	6 休み	7	8 フロアワーク	9 	10	11
12	13 休み	14	15 	16	17	18
19	20 休み	21	22 フロアワーク	23 	24	25
26	27 休み	28	29	30	31 休み	1

11 -2025-						
日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2 	3 休み	4	5 	6 講演会	7	8
9	10 休み	11	12 フロアワーク	13 	14	15
16	17 休み	18	19 	20	21	22
23	24 休み	25	26 フロアワーク	27 	28 休み	29
30	1	2	3	4	5	6

12 -2025-						
日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3 	4	5	6
7	8 休み	9	10 フロアワーク	11 	12	13
14	15 休み	16	17 	18	19	20
21	22 休み	23	24 フロアワーク	25 	26 休み	27
28	29 休み	30 休み	31 休み	1	2	3

沢木耕太郎先生
おすすめ書籍



11月6日(木)にいちほら子ども未来館(weほーる)にて講演会を行う沢木耕太郎氏の著作の中から、図書館司書がおすすめ本をセレクト！

『天路の旅人』
新潮社
(2022年10月発行)
「旅」の真髄に迫る、大型ノンフィクション



『暦のしずく』
朝日新聞
(2025年6月発行)
初にして堂々たる時代小説！
『旅のつばくろ』
新潮社
(2020年4月発行)
初の「国内旅エッセイ」

『人の砂漠』
新潮社
(1977年発行)
初期のノンフィクションを代表する一冊

『凍』
新潮社
(2005年9月発行)
山岳ノンフィクションの傑作！



休館日・開館時間などのご案内

開館時間 午前9時30分～午後5時(水・金は午後7時 ※児童室を含む)
休館日 月曜日・月末図書整理日・特別整理期間・年末年始
施設利用 貸出期間は2週間。図書と雑誌が10点、視聴覚資料が2点まで
児童室・飲食スペース・グループ学習ルームあり
アクセス 五井駅東口より徒歩15分、
バス停「weほーる・保健センター・中央図書館前」

